

2025年 6月 20日

各 位

会 社 名 株式会社セキュアヴェイル
 代表者名 代表取締役社長 米今政臣
 (コード番号:3042 東証グロース)
 問合せ先 経営企画本部 林 泰弘
 (電話 06-6136-0026)

上場維持基準への適合に向けた計画に基づく進捗状況(改善期間入り)について

当社は2021年12月28日にグロース市場の上場維持基準への適合に向けた計画を提出し、その内容について開示しております。本年4月に、東京証券取引所より「上場維持基準(時価総額基準)への適合状況について」を受領し、改善期間入りしていることから、2025年3月末時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況、計画期間及び改善期間

当社の2025年3月31日時点におけるグロース市場の上場維持基準への適合状況はその推移を含め、以下のとおりとなっており、時価総額については基準を充たしておりません。当社は不適合になっている時価総額基準を充たし、上場維持基準への適合に向けた各種取組みを強力に進めてまいります。

なお、2026年3月31日までの改善期間内に時価総額基準が適合しなかった場合には、東京証券取引所より監理銘柄(確認中)に指定されます。その後審査の結果、時価総額基準に適合している状況が確認されなかった場合には、整理銘柄に指定(当社が潜在株を保有していない場合は基準日時点で整理銘柄に指定)され、当社株式は2026年10月1日に上場廃止となります。

		株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式 比率	時価総額
当社の 適合状況	2021年6月末 時点	—	20,959単位	14.0億円	54.5%	25.8億円
	2025年3月末 時点	4,245人	43,708単位	12.3億円	56.8%	21.7億円
上場維持基準		150人以上	1,000単位以上	5億円以上	25%以上	40億円以上
適合状況		適合	適合	適合	適合	不適合
計画期間 (改善期間)		—	—	—	—	2026年3月 (2026年3月)

2. 上場維持基準への適合に向けた取組の実施状況及び評価

売上高と収益の拡大を通じて株価水準を高める為に、「顧客満足度の向上による追加契約、契約更新の獲得」及び「既存パートナーとの連携強化と新規パートナー獲得」に取り組みました。

パートナーとの戦略的提携につきましては、パートナー企業数はセールspartner（20社）、テクニカルpartner（16社）、技術提携partner（15社）、SOCpartner（2社）の計53社（前期比+9社増加）に拡大し、販路の拡大を図りました。

主なものとしては以下の通りです。

2024年7月より医療DX事業を中心にサービス提供する株式会社メディカル・オーシャンと提携し、厚生労働省『医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第6.0版』に沿ったクリニックを中心とした医療機関向けのセキュリティサービス「NetStare for Clinic」の販売を開始しました。

○2024年11月には、株式会社ブロードバンドセキュリティと資本業務提携を締結し、協業を推進することによりSOCサービスのラインナップの拡充など、サービス提供範囲の拡大と販売の強化を図っています。

○2024年12月には、フォーティネットジャパン合同会社との提携により、同社のNDR（Network Detection and Response）製品「FortiNDR」の取扱い、当社は「マネージドNDRサービス」の提供を開始。本サービスは、医療機関、産業用システム、金融機関など高度なセキュリティが必要とされる環境でのゼロトラストセキュリティの実現を支援し、サイバー脅威に対する迅速で強固な対応を提供します。

現在までのサービスレベルを向上させる活動としては、

○多くのSIベンダーやユーザー企業に採用されているマネージド・セキュリティ・プラットフォーム「LogStare」にMicrosoft 365やAWS、Azure、Box、Google Workspace等のクラウドサービスのログを定期的に自動収集する機能を強化し、ログの長期保管や外部ストレージでの保管を必要とする組織のニーズに今まで以上に対応できるようになり、ハイブリッド・マルチクラウドの管理の煩雑化に課題を抱える企業のIT運用業務を強力に支援しています。

○独自開発・販売する「LogStare」に人と会話するように対話型AIに質問を投げかけるだけで、システムトラブルやセキュリティインシデントが提示され、さらにその原因や対処方法を質問することができる機能を搭載する開発に成功し、2025年6月から提供を開始しました。今までアナリストの専門知識を必要としていた分析業務や判断業務をAIに置き換えることができ、SOC（Security Operation Center）をはじめとした企業のセキュリティ運用に関わる組織の省人化と高精度化を実現していきます。

以上の活動の結果、2025年3月期は3期連続の38百万円の経常損失から、37百万円（対前年比+76百万円）の経常利益へ転換、期末配当を実施できるまでに収益体質を改善することができたものの、計画通りには進捗はしませんでした。

これまでの当社の取組や施策は、上場維持基準の適合に向け一定の成果はあったものの、時価総額はグロース市場で求められる上場維持基準には届いておらず、引き続き、売上高と収益の拡大により企業価値を高めること、株価の更なる上昇が課題であると認識しております。現行の取組を一層強化し、今後も進めてまいります。

2026年3月期の適合に向けた取組の基本方針は次の通りです。

- （1） 連結売上高13.2億円、連結経常利益1.09億円（2026年3月期）を達成し、企業価値を高める。
2025年3月期で収益が改善し、配当が実施できるようになりました。2026年3月期に向けて、期首（4月1日時点）において、売上の前受金221百万円があり、更なる上積み達成を目指します。

(2) 株主様への利益還元

前述の収益体質の強化により、株主の皆様への利益還元（配当金）を実現します。

3. 上場維持基準に適合していない項目ごとの課題と取り組み内容

当社グループが上場維持基準に適合していない項目は、40 億円以上の時価総額基準であり、2026 年 3 月 31 日までの改善期間内の適合に向け、以下の課題に対する取組みを強く進めてまいります。

(1) 時価総額の課題

時価総額がグロース市場で求める40億円に達していないのは、2022年3月期から2024年3月期まで、3期連続で営業利益及び経常利益ともマイナスであったこと、株主の皆様へ配当が実施されていなかったこと、当社グループがITセキュリティ分野における最先端のサービスを提供し、その多くのエンドユーザーは官庁、大学、医療分野、経済界の著名な取引先であること、積極的な商品・サービス開発や新規開拓等のPR不足により、将来性を十分に伝えることができていなかったことが主因であると考えております。

(2) 時価総額への取り組み内容

ア. 連結売上高13.2億円、連結経常利益1.09億円（2026年3月期）達成に向けて

引き続きの下記の活動を行ってまいります。

(ア) パートナー戦略

①既存パートナー深耕

- ・パートナーへのトレーニング支援、コンテンツ拡充
- ・パートナー向けカスタマイズサービスの企画・開発

②新規パートナー開拓

- ・パートナー向けウェビナー、セミナーの企画・開催
- ・展示会、イベント出展
- ・特定業界向け（重点：医療、製造業（OT/IoT）など）の新サービス企画、共同開発

(イ) 営業戦略

- ・セールス人材の育成、採用
- ・既存顧客フォロー体制の強化

(ウ) 製品・サービス戦略

- ・サービスの付加価値化（AI化）
- ・サービスラインナップの拡充と市場開拓
「NetStareシリーズ」、「LogStareシリーズ」

(エ) IR戦略

- ・当社Webサイトのコンテンツの充実、新規の製品・サービスのリリースなど当社グループ事業に関わる情報発信を強化

IR情報

<https://www.secuavail.com/info/>

ニュース

<https://www.secuavail.com/event/category/news>

技術者ブログ

<https://www.secuavail.com/kb/>

イ. 株主様への利益還元について

来期2026年8月に創業25周年を迎えるにあたり、2026年3月期の期末配当を5円で計画しております。株主の皆様にご更なる配当ができるように、売上高、経常利益計画の積上げに努力する所存であります。

ウ. その他

1) 国内の他の証券取引所への重複上場申請

当期（2026年3月期）に、グロース上場企業として継続努力しつつ、国内の証券取引所への上場申請も進めてまいります。

2) 2026年度3月期の計画必達により、東京証券取引所スタンダード市場へ新規上場申請

来期（2027年3月期）に、東京証券取引所スタンダード市場へ新規上場申請ができるように努力いたします。

【今期の連結業績予想及び今後の連結業績目標】

当社グループの連結業績目標について、最近の業績動向を踏まえ、新たに2027年3月期までの目標を下記の通りといたしました（詳しい内容については、事業計画及び成長可能性に関する事項をご参照ください）。

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	営業利益率	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
2025年3月期 （実績）	1,149	35	3.1%	37	42
2026年3月期 （予想）	1,320	109	8.2%	109	75
2027年3月期 （目標）	1,438	138	9.6%	138	95
2028年3月期 （目標）	1,536	151	9.8%	151	104

（注）上記の業績予想は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて記載したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

持続的成長と企業価値向上の実現に向けて、引き続き、株主様をはじめとするステークホルダーの皆様のご期待に応えられるよう努力してまいりますので、今後ともより一層のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

以上